

加入事業所	188 事業所	参加率 (事業所)	参加人数	70 人		
出席	57 事業所	30.3%	回答者	50 部	回収率	71.4%

集計結果

1 本日の居宅介護支援部会で取り上げた内容は参考になりましたか？

①	大変参考になった	32	64.0%
②	少し参考になった	14	28.0%
③	あまり参考にならなかった	1	2.0%
④	参考にならなかった	1	2.0%
⑤	未記入	2	4.0%
		50	

2

参考になった点

- ・ 元気応援ポイントがゴミ出しでもらえる地域がある。社会資源と言われてもイメージが自分ひとりでは狭かったが大勢で話し合えてよかった。
- ・ 地域ケア会議につなげて少しでも実現できるものがあればよいと思った。
- ・ 社会資源がどんなものが必要になるかいろいろ参考になった。
- ・ 他区他地域での取り組みや社会資源を共有できた。
- ・ あったらしいなのアイデアが良かった。
- ・ 地域で安心して生活できるように社会資源の活用と開発を考えていきたいと思った。
- ・ 他市町村にあるサービスも参考に、地域に無いサービスを行政に働きかけるものケアマネの業務でエリアが同じで情報共有ができやすかった。
- ・ ゴミ出し、外出支援でいろいろな方法を学びました。
- ・ 色々なサービス内容があることがわかった。
- ・ 社会資源の現状と課題、他のCMの意見がきけた。
- ・ 社会資源に対しての考え方が使う前からフォーマルで済ましてしまう事が多いのに反省しました。他にも地域に対してCMとして積極的にかかわらなくてはと思いました。
- ・ 知らなかった社会資源を知る事ができた。
- ・ グループワークの発表内容が参考になりました。
- ・ 知らなかった情報が聞けた。みなで話しが出た意見が発信(区などへ)されるとよいと思います。
- ・ 色々意見交換ができ、知らない事も多く勉強になりました。
- ・ 思いつかなかったアイデアや意見が参考になった。実際に同じ仕事をしている為か、もどかしい思いも同じにあることがわかった。
- ・ 情報
 - ①食事の行政支援 ②ヤクルトの配達とゴミ出し ③大学生に依るコンピューター及びスマホのコーチ
- ・ 他区の事例を伺えた
- ・ 直面している課題を共有することで皆同じ悩みをかかえていると思った。千住エリアだけでなく色々なサービスがあるんだと感じた。
- ・ 困りごとの対策が具体的にきけた。
- ・ 実践や実現可能な あったらしい
- ・ 知らないサービスや あったらしいなの面白い意見が聞けました。
- ・ 皆様が大変な苦勞をされていることがよく分かりました。
- ・ インフォーマルサービスは知らなかった情報があった。皆さん同じようなことで悩み考えていることが分かった。どんどん改善されるよう声にしていきたいと思う。

2 参考になった点（続き）

- ・自分の知らないサービス、他区の取り組みなどが聞けてよかった。色々な要望も聞けたことが良かった。
- ・社会資源をどのように開発し、気付きを持ち、繋げていくか、色々な発想が参考になった。
- ・区外でのサービスで良い部分を真似できると良いと思った。
- ・他の地域の資源をたくさん聞くことができた。様々なボランティアを知ることができた。
- ・ゴミ問題は地域共通の課題なので、地域ごとに持ち回りでゴミ出し支援の制度作りができればと思う。地域での組織づくり、難しいが助け合いの精神でこのような輪が広がられたらと思う。
- ・保険外の支援。グループワークで沢山の意見が出て共有できた。

3 参考にならなかった点、また参考にならなかった理由

- ・実際に業務として使えるものが少なかった。
- ・フォーマル インフォーマル各々に絞って討議してはよかったのでは。
- ・混合サービスが導入できるようになっていると思った。通院介助の院内介助、通所介護の送迎時の途中での買い物等具体的に指定されていたと思う。
- ・グループワークの検討課題の項目がわかりづらく迷った。
- ・新しい社会資源を知りたかった
- ・足立区は高齢者が多すぎて一概に他区との比較は難しいこと
- ・必要(ニーズ)を満たすにあたり、提供側は基本ボランティア(無報酬)であることを前提として検討が多すぎると感じました。

4 その他（意見感想など）

- ・参加者がケアマネだけではなく、区の担当者も来ており、話を聞いたことや、ケアマネからの意見についてコメントを頂けたことが、ケアの発展に繋がると感じた。
- ・周りの意見がとても参考になった。
- ・通院介助については学生ボランティア等の活用が実現できたら高齢者も助かるのではないかな。
- ・もう少し発表の時間があってもよかった。
- ・草加市の移送サービスは要介護4.5 非課税世帯での利用である
- ・緊急通用システムも疾患の指定あり又住民税非課税世帯でないと利用できないなど利用の難しさがある。
- ・発表にもあったナビにインフォーマルサービスの情報もものせて欲しい(買い物を配達してくれる店 etc.)
- ・提案や良いアイデアがあっても やはりどこまで行政が入ってくれるかが大きいと思います。
- ・困っている事は皆同じような事で、このように発表される機会が増えて、どのように解決していかるかまで話し合っていけるとよいと思いました。
- ・人が動けば金がかかる事を行政は考えてもらいたい。
- ・お金が出せない高齢者が多い。ボランティアは人数的に少ない。

最終的に最も必要な社会資源は「金」ということだと思います。日本国政府(財務省及び厚労省)は「社会保障費が足りない」という嘘をやめ、介護保険その他のサービスに対し速やかに予算を割くべきだと思います。ボランティア頼りには限界があります。

5 今後、部会で取り上げて欲しい内容

- ・ネグレクト、セルフネグレクトについて
- ・社会資源について第二弾
- ・他の事務所のCMとの交流。
- ・在宅医療、訪問診療について 専門医師よりの話
- ・「マクロ経済について」 ①「介護保険はお金が足りない！」→②介護給付費が削減される→③介護従事者の給料が減る(あるいは退職する)→④介護従事者の払う税金が減る→①に戻る。このサイクルは自分たちの首を絞めている、という理論です。